



美しい一日が終わる頃、ドアを開けたら世界じゅうが真っ赤だった。



平凡な一日のなんて劇的に美しいことだろう、なんて豪華なのだろう、



と、存在の奇跡という言葉を思う。



燃えるような夕暮れはやがて静かな優しい夕闇に沈んでゆく。  
ぽっかり優しいお月さま。

...パチっ。夜だぞっ



夜に目覚めるひとたちが。

最近戸棚の上あたりでは夜遊びがブームらしい。



飲めや歌えやドンチャン騒ぎ。

...とここで、アオ君である。



ま、大勢で浮かれるのもいいがな。



オレは孤独が好きなのヨ。  
ひとり抜け出してベランダで月を眺める。

いいお月さまだなあ。



満月の水曜日には、水曜日のネコで月見酒。



友人が訪ねてきたり、特別な夜には、オトナな葡萄酒なんかもいいね。



余興をリクエストされたら、影絵で遊んであげる。  
昔、夏休みいところ達で集まった夜には、みんなでこうして遊んだ。

ウマの口がぱくぱくするんだよ。  
夜も更けてくると、小さい子からだんだんと...

眠い～。



もうお布団行きなさい。



ころん。



イヤだからちゃんと寝なさいってば...



これは17日のお月さま。おやすみなさいサンタマリア。

編みねこの日々 あみねこたち夜の楽しみ

<http://p.booklog.jp/book/72221>

著者 : yamamomon

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/yamamomon/profile>

※あみねこの著作権は、ねこやまさんにあります。

この写真絵本は、ねこやまさんの許可を得てyamamomonが制作、発表しているものです

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/72221>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/72221>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社ブクログ